

コシヒカリの栽培暦(ぼかしペレット堆肥とあたり米 246 肥料を組み合わせた栽培方法) 暫定版

【生育のめやす】

生育ステージ		草 丈 (cm)	茎 数 (本/株)	葉 数 (本/㎡)	葉 色 (SPAD)
移植期	5 月 10 日	12	3～4	45～60	2.0
有効分けつ終止期	6 月 16 日	38	21～22	320～340	8.3
最高分けつ期	6 月 30 日	48	30～33	460～500	9.9
幼穂形成期	7 月 14 日	67～70	27～30	410～450	11.3
出穂期	8 月 5 日		22～23	330～350	13.2
成熟期	9 月 14 日	91(稈長)		330(穂数)	

【収量構成要素及び品質のめやす】

目標収量	510kg/10a
穂 数	330 本/㎡
一穂粒数	80 粒
㎡当たり粒数	26,000 粒
登熟歩合	90%
千粒重	22.0 g
整粒歩合	70%以上(穀粒判別器)
玄米タンパク質含有率	6.0%

阿賀野市
新発田農業普及指導センター

【施肥の考え方】

ぼかしペレット堆肥を散布する場合は、慣行に比べ葉色が濃く推移するので、慣行肥料を 10～20%減肥する

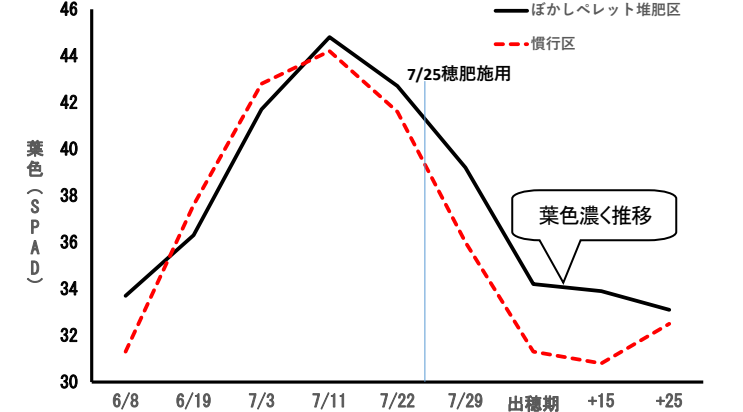


図 1 令和 6 年度実証ほにおける葉色の推移
※ ぼかしペレット区：ぼかしペレット(米ぬか20%:屑大豆24%:ぼかし12%:おから30%:菌床14%) 100kg/10a +あたり米246 40kg/10a 施用
※ 慣行区：あたり米246 40kg/10a 施用

生育ステージと管理のポイント

時期	4 月	5 月			6 月			7 月			8 月			9 月	
	20	1	0	2	0	1	0	2	0	1	0	2	0	1	0
主な作業と生育ステージ	は種	田植え			中干し			穂肥 穂肥			落水			収穫	
		分けつ前期			有効分けつ 最 高 終 止 期 分けつ期			幼穂形成期 減数分裂期			出穂期			成熟期	

土づくりと 適正基肥	初期生育の促進と良質茎の確保			病虫害・雑草 防除	生育診断と 穂肥施用	水管理による後期栄養確保		適期収穫と適正な乾燥調製						
	育苗	移植と水管理	水管理 (活着後～中干し)			出穂期 (中干し以降)	登熟期	収穫	調製					
	・ 稚苗では、は種期を移植期の 20 日前頃とする ・ 稚苗は育苗期間 18 日で 2.0 葉の規格苗を育苗する ・ 中苗は 30～35 日で 3.5 葉の規格苗を育苗する	・ 田植えは 5 月 10 日以降とする ・ 倒伏を考え栽植密度は 50 株/坪を基準とし、初期生育のとれにくいほ場は 60 株/坪とする ・ 1 株苗数 3～4 本とする ・ 漏水を防止し、水温の上昇に努める ・ 田植え後は湛水深 3～4 cm を基本とし、低温や強風時は 4～5 cm 程度のやや深水にして植え傷みを避ける	・ 活着後は 2～3 cm のやや浅水として分けつの発生を促す ・ 中干しは、田植え後 25 日に生育を確認し、遅くとも田植え後 30 日をめやすに目標穂数の 7～8 割(過剰生育ほ場や移植後高温等で茎数過剰が懸念される場合は 6～7 割)の茎数を確保した時点で直ちに開始する			・ ほ場内の病虫害や雑草発生状況を常に観察する ・ 雑草発生や除草剤の種類に応じて散布時期に注意して散布する ・ 斑点米カメムシ類の防除は、畦畔等の草刈りと薬剤防除を行う	・ 幼穂長や止葉の出方をみて出穂前日数を確認する ・ 1 回目の穂肥は幼穂形成期の生育（草丈、葉色SPAD値、茎数）とその後の気象情報で判断し、慣行より 3 日程度早めに、慣行肥料1.2kg/10a を目安に施用する ・ 2 回目の穂肥は出穂13日前をめやすとし確実に慣行肥料1.2kg/10a を目安に施用する ・ 出穂後の高温・葉色低下が予想される場合は、3 回目の穂肥を判断し、慣行肥料1.0kg/10a を目安に施用する	・ 中干しは出穂期 1 か月前までに終了して、その後は浅水の間断かん水を実施し、徐々に飽水管理に移行する ・ 肥効を高めるため穂肥時は湛水する	・ 飽水管理により適切な土壌水分の維持に努める ・ 異常高温や強風フェーンの気象情報に注意し、事前に速やかに湛水する ・ 落水期は出穂期 25 日後以降をめやすとし、早期落水しない ・ 暗渠栓は出穂期 25～30 日後に栓を開ける	・ 黄化粳割合が 85～90 % になった頃をめやすに収穫する ・ 積算温度は 1000℃(高温年は 950℃)をめやすに収穫する	・ 適正乾燥で胴割れを防止する ・ 乾燥温度を上げ過ぎない ・ 仕上げ水分は 15% を目標とする ・ 篩い目は 1.85 mm 以上を使用し、整粒歩合の高い 1 等米に仕上げる			
	(表中の「慣行肥料」は「あたり米 246 肥料」を示す)													
	穂肥施用時期のめやす（出穂前日数）													
<table><tr><td></td><td>1 回目</td><td>2 回目</td><td>3 日目</td></tr><tr><td>あたり米246</td><td>21～18日前</td><td>13日前</td><td>6日前</td></tr></table>								1 回目	2 回目	3 日目	あたり米246	21～18日前	13日前	6日前
	1 回目	2 回目	3 日目											
あたり米246	21～18日前	13日前	6日前											